



# いろは呑龍新聞

2018年(平成30年)8月号  
第32号

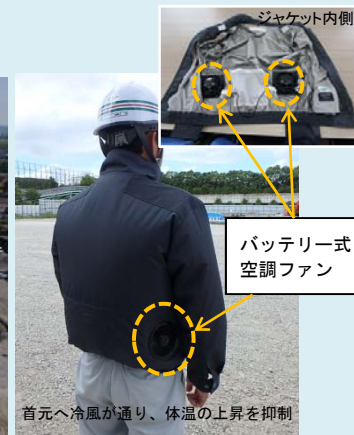
## 呑龍ポンプ場(土木)工事進行中!

呑龍ポンプ場(土木)工事は、構造物を地下に沈める際にニューマチックケーソン工法という特殊な工法を採用しているため、沈下の準備作業を進めています。

長岡京市では連日35℃を超える酷暑の中、熱を扱う鉄板の溶接や人力による埋め戻しなどの汗をかく作業が続いており、定時毎の水分補給休憩や空調服の導入など、熱中症対策にも取り組んでいます。



ポンプ場予定地航空写真(H30.8)



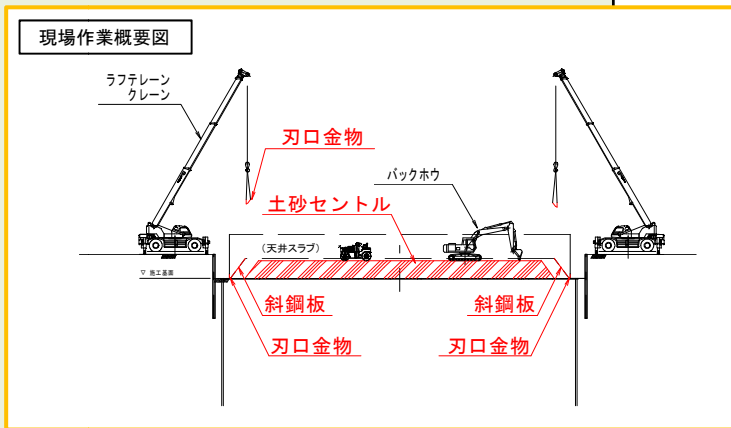
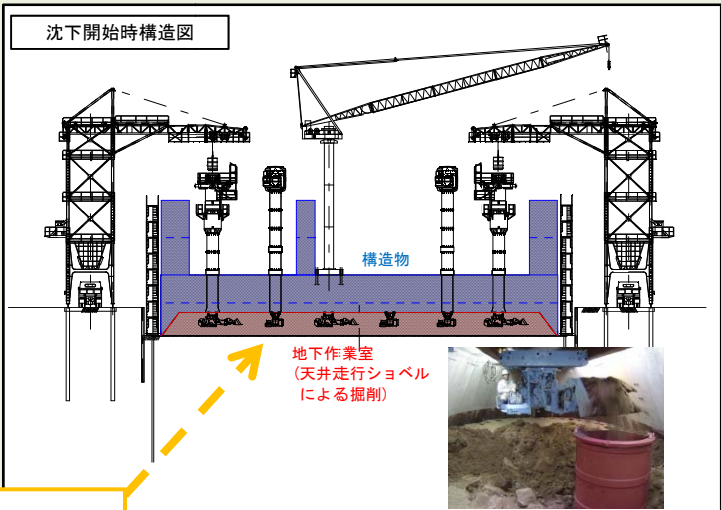
空調服(ファン付ジャケット)

## 作業室の構築(土砂セントル・刃口金物・斜鋼板)

現在、現場ではポンプ場を沈めるための掘削作業を行う地下作業室を造っています。

作業室は構造物の自重と土圧、水圧に耐える強固な鉄板で囲まれた構造とするため、工場で鉄板の部材を製作し、現地で溶接、ボルト接合などにより組み立てています。

刃口金物は地下40mまで構造物を沈下させるための先端の刃先であり、わずかな傾きが構造物の大きな傾きにつながるため、最初の作業でゆがみが出ないように水平に据え付けることが重要です。



- ①土砂セントル  
作業室の天井スラブを受ける支保工
- ②刃口金物  
沈下させるケーソンの刃先
- ③斜鋼板  
作業室内の壁の部分を構成する鉄板なんだ。



刃口金物(工場)



斜鋼板(工場)



刃口金物設置状況



斜鋼板設置状況